

学校教育目標	商業に関する専門的な知識・技術を習得させ、知徳体の調和のとれた社会に広く貢献できる商業のスペシャリスト(有為な人材)を育成する。		重点目標	① 「米商ブランド(文武両道・礼節)」の推進 ② 学びを深め、学力の向上を図る ③ 安心・安全に生活できる学校づくり ④ 教員の資質・能力の向上
めざす学校像	① 明るく元気で生き生きとした学校 ② 地域に信頼される学校 ③ 知性と感性を磨く学校 ④ 教師が学び続ける学校	めざす生徒像		

達成度	A・・・達成	B・・・概ね達成	C・・・やや不十分	D・・・不十分
-----	--------	----------	-----------	---------

自 己 評 価					学校関係者評価	総括
番号	評価項目	具体的方策と指標・基準等	目標達成状況及び取組み状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等
1	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒による授業評価と研究授業の実施を踏まえた授業改善。</li> <li>3年間で全商1級1種目取得60%以上を目指す。</li> <li>図書館を利用した調べ学習の推進と読書習慣の奨励</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業第一のカリキュラム運用を徹底した。</li> <li>3年生の全商1級取得率が伸び悩み(H30 46.8% H29 44.2% H28 56.6%)</li> <li>図書館での教科指導が増加傾向(H30 156 H29 105)</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領改訂等への対応をカリキュラムマネジメントを構築させながら進め授業改善を図っていく。</li> <li>検定試験取得計画を再検討し生徒との目標の共有や指導の工夫を通し改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と保護者からのわかりやすい授業と資格取得への要望は多い。</li> <li>難易度の高い資格取得については専門学校との連携を継続的にを行い活用してほしい。</li> </ul>
2	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の定着を図る。</li> <li>ユニバーサルデザインの視点で学習環境を整備する。</li> <li>全国レベルの目標ももって部活動に取り組ませる。</li> <li>人権意識の高揚を図りいじめ等のない学校を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間厳守指導を徹底し改善した。</li> <li>陸上・ホッケー、かるた部が全国・東北大会出場を果たした。</li> <li>いじめ認知件数減少傾向(H30 7 H29 12)。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の習慣化に取り組む。</li> <li>交通マナー向上と交通事故被害に遭わない指導を行う。</li> <li>生徒の実情を理解しスマホ活用について指導する。</li> <li>丁寧な清掃を通し生徒の心を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の交通マナーの指導をしっかりとお願いしたい。</li> <li>高校入学前にスマホの利活用に課題がでている。生徒の実情をよく理解して指導する必要がある。</li> </ul>
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰が見てもわかる具体的プログラムを作成しキャリア教育の充実を図る。</li> <li>指導体制を確立し個別指導を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務系就職希望者はほぼ希望動通りに内定。県内就職内定増加傾向(H30 41 H29 33)。</li> <li>看護医療系進学者はほぼ希望通り。</li> <li>公務員、国公立4大に課題。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導を見える化しマネジメントを改善する。</li> <li>公務員希望者への早期指導と専門学校との連携の活用を図る。</li> <li>大学入試制度変更へ要対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地元就職指導体制の充実を継続してほしい。</li> <li>人手不足感もあり早期退職は企業経営上の課題になっている。</li> </ul>

自己評価及び学校関係者評価の改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育環境と生徒の実情の変化に対応するため、学習指導・生徒指導・進路指導に多様な視点を取り込む必要がある。変化に対応できるマネジメントの構築と校内研修の充実に取り組む。</li> <li>外部講師の派遣や地元事業所での体験など学校外の教育資源を効果的に活用し豊かな教育活動を実現する。</li> </ul>
--------------------	---

○生徒の学習・生活・進路に係る意識が前年より改善している。

- わかりやすい授業について(肯定的回答H30 46% H29 30%)
- 学校は楽しいか(否定的回答 H30 9% H29 17%)
- 進路指導は効果的か(H30 62% H29 51%)

○カリキュラムマネジメントの構築と研修を通し生徒の努力を成果につなげていく。

○学習活動や部活動、生徒会活動等で教員が生徒とじっくり向き合える学校づくりを推進する。

○キャリア教育に係るPDCAサイクルを構築し生徒・教員の目標と実践の共有を図る。